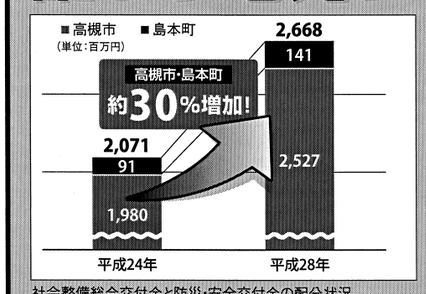
平成29年10月22日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙（大阪府第10区）選挙公報

大阪府選挙管理委員会

誰より地元に貢献したい！



社会整備総合交付金と防災・安全交付金の配分状況（H24年度とH28年度）

地元に、国の予算と事業をつなぐ、その架け橋になるのが**与党議員の務め**です。大阪府の**淀川流域で最後まで取り残されていた堤防補強工事の実現**や、新名神IC開業に伴う国道171号線交差点の全面改良など、**まさに再起動の時**です。豊かな自然や歴史まちづくり、がん克服都市など、**高槻・島本の発展に、徹底的に仕事がしたい**のです！

わたしたちも**おおくま**さんを全力応援します☆

内閣総理大臣・自民党総裁 **安倍 晋三**
高槻市長 **濱田 剛史**
島本町長 **山田 紘平**
大阪府医師政治連盟高槻支部 **丸山 優子**
大阪府歯科医師連盟高槻市支部 **大西 邦夫**
高槻島本薬剤師連盟会長 **松尾 浩**
高槻・島本自民党議員団 **麻生 太郎**
財務大臣・自民党副総裁
（順不同・敬称略）

www.okuma10.com

経歴
昭和44年生まれ。函館ラサール高、聖マリアンナ医大卒、外科医師。大阪大学附属病院、大阪警察病院等勤務。京都大学大学院で社会保障問題の研究を経て、衆議院議員1期当選。国会でもがん対策など積極的に取り組む。

平和と健康

今こそ！命を守る政治を！

1 戦後72年、かつてない平和の危機に、国民の命と財産を断固として守り抜く。自民党にお任せください！

- 北朝鮮の核・ミサイル・拉致問題、中国の覇権主義、国際テロの拡散などに、**法の正義と自由を尊重する国々とスクラム**を組み、法制度や外交・防衛力を整備して、**国民を守り抜きます。**
- わが国は災害大国。もしもの**防災・減災の備え**を確実にします。

2 人生100年も夢じゃない！医療・介護・年金・福祉に、子育て支援を加え全世代型の社会保障を！

- 人口減少時代を乗り越えるためには、今のうちにしっかりと少子化対策である、子育て支援が必要です。まず教育無償化の実現へ。
- がん・難病・障がい等を抱えても、活躍できる社会の創造と実現を。
- 本当の人生の豊かさを追求する、働き方改革を進めます。

がん専門医
衆議院議員候補 48歳

自民党公認 公明党推薦

おおくま 和英

挑戦する情熱議員 おおくま和英は、与党議員だけが可能な高槻・島本の発展と、安心の健康長寿社会の創造に全力疾走してきました。今、かつてない平和の危機に、国民の命を守る政治の出番です！

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。）

衆議院議員候補 立憲民主党・大阪10区（高槻・島本）

辻元清美

大阪10区（高槻市・島本町）・6期目。高槻市立如是小学校。早稲田大学卒業。国際NGO設立。ダボス会議「明日の世界のリーダー100人」選出。エイボン教育賞受賞。元国土交通副大臣、元首相補佐官（災害ボランティア担当）。児童養護議員連盟会長など歴任。防災士、介護ヘルパー。

高槻・島本の皆さんへ

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。

私は歴代11人の総理大臣との論戦を一番多くしてきた国会議員です。真正面から問題に立ち向かうので、一部の人たちから執拗に攻撃されたり、事実無根のデマを流され続けています。

森友・加計学園の問題のときに私をターゲットにしたフェイクニュース（偽情報）がインターネット上や一部マスコミに大量に流されました。さらに、それを安倍総理までもが国会で「疑惑だ」とりあげたのです。しかし、その後、すべてにおいて事実ではないことが証明されました。

全くの事実無根にもかかわらず、私への嫌がらせは止まりません。私も人間ですから、心が折れそうになる時もあります。しかし、いじめ、パワハラ・セクハラ、ヘイトスピーチは、私ひとりの問題ではありません。多くの傷ついている人々がいます。

自分と意見が違う人たちと議論をし前向きに問題を解決するのではなく、ただ排除していく社会を私たちは本当に望んでいるのでしょうか。

原発をグリーンエネルギーへ、貧困家庭の子どもを守る、長時間労働の解消、高齢者の孤立をなくす、財政の再建。そして憲法。

いろいろな意見のなかで20年以上取り組んできました。その成果が目に見えてきています。

私は対話をあきらめません。私はぶれません。

辻元清美

実行力

歴代総理大臣11人と激論
国会質問287回、質問主意書242本

●「サービス付き高齢者向け住宅」制度を新設、全国218851戸・大阪22963戸の建設を実現しました ●海上保安庁の日本最大級巡視船「あきつしま」建造に着手、領海警備を強化しました ●中心市街地活性化法で高槻駅前歩道橋整備、バリアフリーを進めています ●高槻・島本を流れる淀川洪水対策や171号線拡張を再スタートさせました ●交通政策基本法でバス路線の充実を図っています ●児童買春・ポルノ禁止法を作り、子どもを性的虐待から救うため力を尽くしています（検挙総数32982件） ●被災者生活再建支援法を作り、被災者の生活再建を支援しています（支給総額4103億円） ●NPO法を作る。51629団体、高槻・島本で109団体が設立されました ●59年間実現できなかった在外被爆者の医療費支給を可能にしました ●憲法審査会で最も古い委員として、立憲主義をまもっています

わしは改憲派であり、辻元清美氏は護憲派である。ここを議論すると、二人の考えが真っ向からぶつかって壮絶なことになる。だが、安全保障に関しては、辻元氏は案外リアルに考えていることを世の中の人はあまり知らない。天皇制については、辻元氏は考えをあらため、わしに接近してくれた。嬉しいことだ。ネトウヨでなければ誰だって安倍首相より天皇陛下の方が立派だと思うだろう。辻元氏に関してはネトウヨが流したデマばかりで、本当に気の毒だ。わしは論敵ながら、辻元氏の筋金入りの「公」を思う精神を知っている。敵としてわしが唯一認めた辻元清美を応援してくれ。

小林 よしのり（漫画家）

応援団
内田 樹（思想家・武道家） 斎藤 駿（カタログハウス相談役、元「通販生活」発行人） 中野 晃一（上智大学教授）
浜 矩子（同志社大学大学院教授） 水野 和夫（元三菱UFJモルガン・スタンレー証券チーフエコノミスト、法政大学教授）
山口 二郎（法政大学教授） 山田 紘平（島本町長） 湯川 れい子（音楽評論家・作詞家）

右でもなく、左でもなく、前に。

日本の未来、どちらに託す？

共産と組んで現実的対応は無理

小池さんに仕分けされた民進党の左派グループは立憲民主党を設立し、高槻・島本では共産党と統一候補を立てるほど連携しています。

共産党は「自衛隊解消」や「日米安保条約破棄」を掲げる政党です。共産票を取り込む勢力について、ケンタはこれまでも「北朝鮮問題などで、現実的な対応ができなくなる」と国会で指摘してきました。

共産路線か、維新路線か

大阪10区（高槻・島本）は左派勢力が昔から強く、今回は特に『共産・立憲民主』と『維新・希望の党』の2つの野党勢力が互角に競う全国でも珍しい選挙区です。共産路線か、維新路線か、ケンタは野党のあり方を問います。

右でもなく、左でもなく、前に。

そして、大阪都構想→道州制

アベノミクス3本目の矢と言われた成長戦略が不発です。しかし成長戦略は国だけがつくるのではありません。大阪・松井、東京・小池、愛知・大村の3知事による「三都物語」で、東京一極集中からの脱却を図ります。その先駆けが大阪都構想です。そして道州制で多極国家へ。日本が変わるきっかけを大阪からつくります。

3国会連続 重要委員会で最多質問

テロ準備罪の修正案立案!!

最重要法案「テロ準備罪」に歯止めをかける修正案をケンタのアイデアで立案。政府案には当初、微塵もなかった取り調べの録音・録画の制度化に道筋をつけ、法務委員会の質疑も最多。全質問数は26回で議員平均の8倍に達しました。

2017 通常国会

予算委で最多質問!!

日銀の黒田総裁とマイナス金利について激論。麻生財務大臣とは物価上昇率2%目標と消費税の関連について議論し、内閣府のデータのごまかしを指摘しました。

2016 通常国会

TPP特委で最多質問!!

昨年末のTPP国会では、遺伝子組み換え食品の規制の不備を指摘し、消費者庁がヨーロッパに調査団を派遣。専門家による検討会が設置されました。

2016 臨時国会

右でもなく、左でもなく、前に。

安倍政権 共産・立憲民主 維新・希望

日本維新の会

松浪 ケンタ

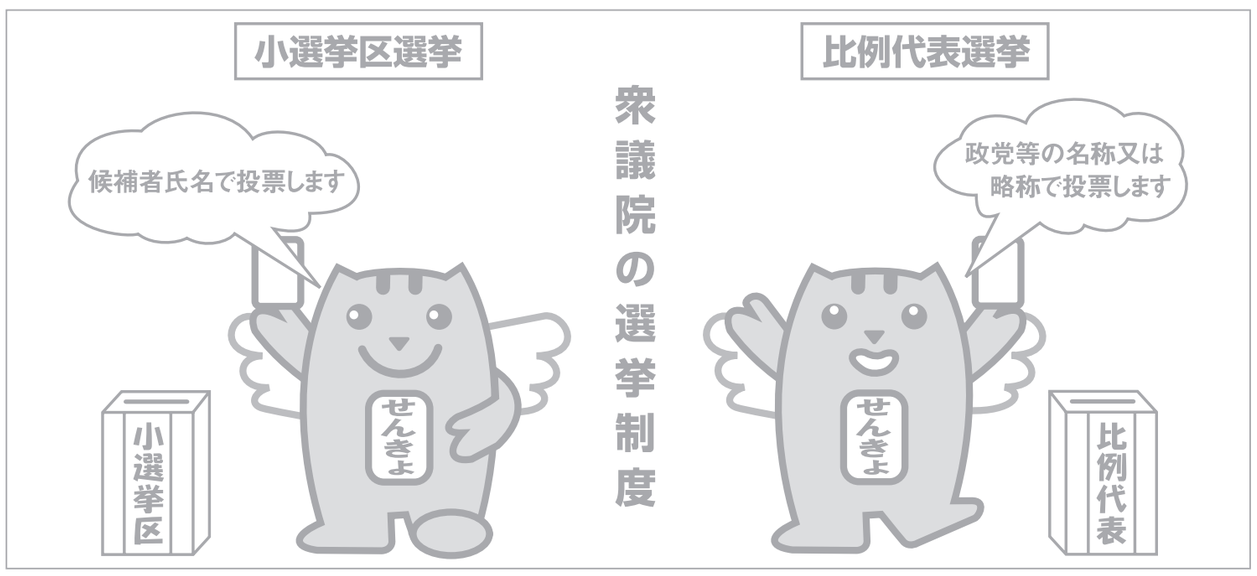
経歴
昭和46年8月17日生まれ。清風高、早稲田大学商学部卒業。産経新聞記者を経て、衆議院議員に当選5回。これまでに衆議院決算行政監視委員長、厚生労働大臣政務官、内閣府大臣政務官（道州制、地方分権担当）など歴任。

道州制 子供たちへ贈り物。

投票日▶10月22日(日)

投票時間▶午前7時から午後8時まで

期日前投票及び不在者投票	投票日に仕事や用事のある方は、10月21日までの午前8時30分から午後8時までの間（土曜・日曜を含む。）、市区町村選挙管理委員会で期日前投票（又は不在者投票）ができます。（ただし、投票所により、日時が異なる場合があります。） なお、都道府県選挙管理委員会が指定する病院や老人ホーム等に入院・入所中の方は不在者投票ができます。
点字投票	視覚に障がいのある方は、点字で投票できます。投票所の係員に申し出てください。
代理投票	病気やけがなどで字が書けない方は、係員が代わって投票を記載する代理投票の制度があります。投票所の係員に申し出てください。
手話通訳	投票日に投票所において手話通訳が必要な方は、事前に市区町村選挙管理委員会に申し出てください。



選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました！